

# Tex Template

著者名

日付

# アブストラクト

アブストラクトを書く。

# 目次

|                  |    |
|------------------|----|
| 第Ⅰ部 導入           | 1  |
| 第Ⅱ部 手法           | 3  |
| 第Ⅲ部 結果と議論        | 5  |
| 第1章 結果           | 6  |
| 第2章 議論           | 7  |
| 本論文の結論           | 7  |
| 付録               | 8  |
| A.1 付録 . . . . . | 9  |
| 謝辞               | 10 |
| 参考文献             | 11 |



## 第Ⅰ部

### 導入

引用論文 [1,2] に関連させて導入を書く。Fig. 1 などとして必要に応じて画像を載せる。

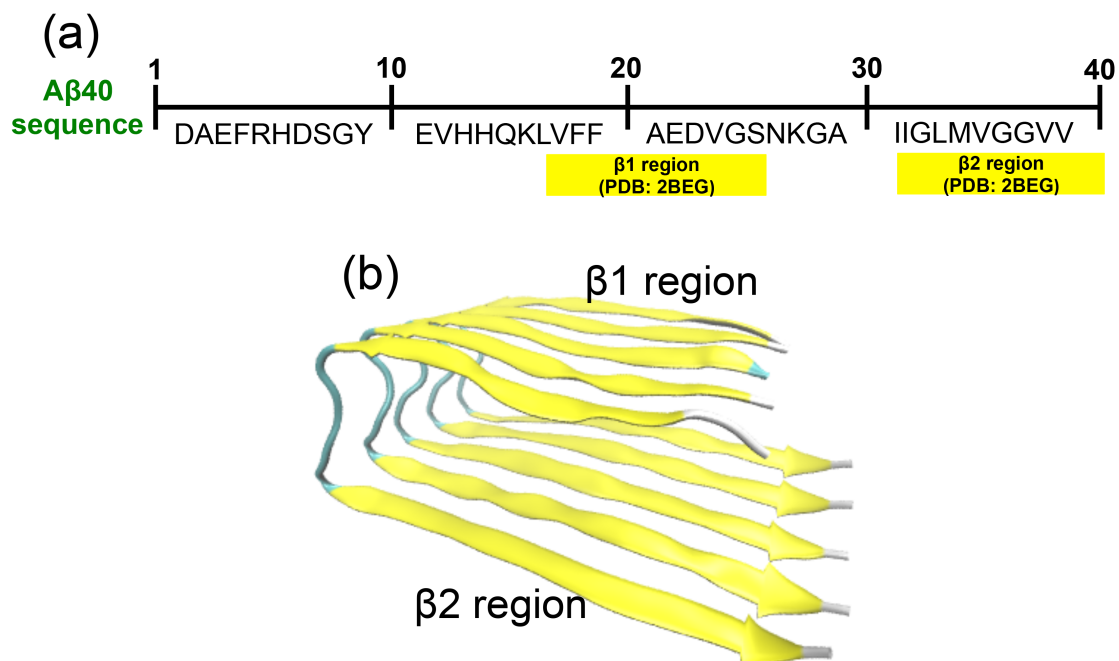


図1 (a) アミロイド  $\beta$ 40 のアミノ酸配列. (b) アミロイド  $\beta$  (17-42) のアミロイド線維の立体構造の例 (PDB: 2BEG) .

## 第Ⅱ部

## 手法

手法を書く。式は以下の Eq. (1) ように書く。

$$\boldsymbol{F}_i = -\frac{\partial U(\boldsymbol{q})}{\partial \boldsymbol{q}_i} = m_i \boldsymbol{a}_i \quad (1)$$



## 第 III 部

# 結果と議論

## 第 1 章

## 結果

## 第 2 章

## 議論

## 本論文の結論

結論を書く。

# 付録

## A.1 付録

付録を書く。

## 謝辞

サポートに感謝いたします。

## 参考文献

- [1] J. D. Sipe: *Annu. Rev. Biochem.* **61** (1992) 88.
- [2] 岡崎進: コンピュータ・シミュレーションの基礎 (化学同人, 2000).